

2月15日(土)に予定されておりました第3回代表者会議は、大雪のため中止となりました。本資料は、第3回代表者会議で事務局よりの情報としてお伝えする予定だった内容をまとめたものです。

#### 1. 指定先の更新について

10月に指定先の一般公募を行い、11月に申込みが締め切られましたが、社会福祉協議会以外の申し込みは有りませんでした。

3月議会での承認を経て、社会福祉協議会が4月以降も指定を受ける可能性が高くなっています。(指定期間は5年)

#### 2. 高学年の入室について(署名へのご協力をお願い)

来年度、川辺クラブと立野クラブで定員オーバーのため高学年の一部が入室できない状況となっています。立野クラブ父母会では、高学年も含めて希望者全員を受け入れてもらうために嘆願書を作成し、署名活動を行っています。全クラブに署名用紙をお配りしていますので、どうか署名へのご協力をお願いします。(期間は2月27日まで)

#### 3. 東武沿線交流会の報告

2月3日(日)、市民活動センターにて東武沿線交流会が行われました。

文京区の学童保育指導員、〇〇さんのお話をお聞きしました。

<文京区の学童保育の状況>

公設公営で、児童館内や学校内に設置。

**指導員は全員公務員(区職員)。経験と共に出世もする。新たな学童の設置や運営方法なども、指導員が会議のメンバーとなって決めていく。**

<東京都の学童保育>

ほとんどの地域が、いわゆる「全児童対策事業」と一体になってしまい、本当の学童保育は無くなってしまった。文京区は非常にまれなケースである。

※「全児童対策事業」とは、登録すれば誰でも自由に行き来できる放課後児童対策事業であり、学童保育の指導員に相当するリーダーが居て子どもたちと遊んだり見守る役目をするもの。

その中に学童保育が設置される場合、教室を利用して夕方まで子どもを預かる。指導員は日によって入れ替わる場合が多く、おやつが無いところもある。子どもの出欠確認も行われていないケースが多く、通常の学童保育と比較すると安心して子供を預けられる施設とは言えない。

講演の後は、グループに分かれて自由討議が行われ、東武沿線の様々な地域の方とお話ししました。

加須では分割により「1年生だけの学童」が出来ようとしているとの情報があり、他地域の指導員からは「それは絶対良くない」とのアドバイスも出ていました。

#### 4. 来年度の活動計画について

父母会連絡会では、来年度も下記の要領で活動を行っていきたいと思います。

ご意見、ご要望、ご質問などありましたら、事務局までお知らせください。

< 2014 年度 活動計画概要 >

総会 1 回 (5 月)

代表者会議 3 回 (6 月、10 月、2 月)

年会費 200 円 / 1 世帯 (各クラブ 4 月 1 日時点の世帯数で算出)

5. 「日本の学童ほいく」を読みましょう

「日本の学童保育」は、全国学童保育連絡協議会が編集・発行している、学童保育に関する唯一の専門誌です。学童保育の歴史は、放課後の子どもの居場所を必要としている親たちが自発的に集まり、作り上げてきたもので、法律や規則が後から出来てきたという経緯があります。そのため、施設や保育方法に関する基準やガイドなどが無く、曖昧な環境の中で各地域の自治体によって様々な運営が行われています。

「日本の学童保育」は指導員や親、子どもたちにとって参考となる事例や意見などを判りやすくまとめ、学童保育の運営や親子の生活を支えるための指針となる雑誌です。学童保育だけでなく、日々の生活における親子の向き合い方や、おやつレシピ、遊びや勉強のヒントなど、家庭内でも役に立つ情報がたくさん紹介されています。

指導員は「専門職」としての自己研鑽のため、親は家庭を守り子育てを行うための参考として、日本の学童保育をぜひ読んでください。